

## 令和4年度第1回群馬県慢性腎臓病対策推進協議会 議事概要

- 日 時：令和4年8月3日（水）19時～20時30分
- 開催形式：オンライン及び会場のハイブリッド開催（会場：291会議室）
- 出席者：群馬県慢性腎臓病対策推進協議会委員11名（オンライン8名、会場3名）  
事務局 健康長寿社会づくり推進課、国保援護課 計5名
- 配付資料
  - ・次第、委員名簿
  - ・資料1 令和3年度群馬県慢性腎臓病対策事業実施報告について
  - ・資料2 群馬県の慢性透析患者の現状等について
  - ・資料3 「群馬県慢性糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム」の推進について
  - ・資料4 生活習慣病重症化予防事業の取組みについて
  - ・資料5 令和4年度群馬県慢性腎臓病対策事業実施計画について

### ○会議内容

1. 開会
2. 挨拶 群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課長
3. 議事 進行：廣村会長

### (1) 報告事項

#### ①令和3年度群馬県慢性腎臓病対策事業実施報告について

（事務局・健康長寿社会づくり推進課）

- ・資料1に基づき、昨年度実施した研修会及び健康フェスタの実施報告、慢性腎臓病（CKD）予防啓発動画の再生回数、県HPの閲覧件数等について報告した。

#### <質疑・意見等>

（廣村会長）昨年度新型コロナ禍ではあったが工夫して事業を行ってきた。オンライン動画は非常に好評である。県公式YouTubeのtsulunosにはたくさんの動画があるが、食生活編の視聴回数は多い方である。食生活編を作成いただいた栄養士会は反響等いかがか。

（塚越委員）作成のときに皆様に御協力いただいたので、予想以上に反響があったのはありがたい。食生活は一般の方にとって身近な存在になるので、興味があったのかと思う。

(溜井委員) (健康フェスタを) 見に行かせていただいたが、見やすい配置になっていて、何人かの方がパネルを見ていて、内容もさることながら配置が良かったと思う。動画を見たという患者さんも何人かいて好評だった。

(廣村会長) YouTube の動画以外に e ラーニングもある。岡委員、e ラーニングについて御説明いただけるか。

(岡委員) 本学の高橋先生が中心になり作成している。ビューカウントもしているが、毎日 40~50 件と予想以上にアクセスがある。現在、バージョンアップのために開発しているところだが、iPhone のアプリで使えるようになっている。これからさらにバージョンアップしていく予定になっているので、その都度、御紹介したい。

## ②群馬県の慢性透析患者の現状等について

(事務局・健康長寿社会づくり推進課)

- ・資料 2 に基づき、最新 (2020 年) のデータをもとに作成した慢性透析患者の状況等について報告した。

< 質疑・意見等 >

(廣村会長) 糖尿病の新規患者数は 2019 年が 343 人に対して 283 人だった。2016 年に 1 度下がったが、統計的な問題かもしれないが、次も下がっていれば、本当に下がっているかもしれないので、少し期待している。実際に、糖尿病性腎臓病予防プログラムを進めていること、また、最近は糖尿病性腎臓病の進行を抑制するのに SGLT2 阻害薬がでてきて効果が上がっているのかもしれない。2017 年の統計で群馬県は人口あたりで一番 SGLT2 阻害薬が処方されている。大事なことは新規の透析患者をいかに減らしていくかということになるので、対策をしっかりとしていくことが重要になる。

(清水委員) 新規導入の高齢者が多いので、通院の問題が出てくる。患者会として残念なのは、高齢者の中には、患者会にあまり情報が入ってこない人がいることである。若い人の透析導入が少なくなってきたのはいいことである。透析療法について社会的にも理解されるようになったので、導入後も仕事をそのまま続ける方も多い。

(廣村会長) 現在、新型コロナの影響で透析を受けるのも大変な状況にあると思うが、患者会からみて実際はどのような状況か。

(清水委員) 基本的には手洗い、マスクで予防している。無症状者が多いというのは怖い。透析室の中では換気をしながら行っている。ワクチン接種はみな積極的に受けている。

③「群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム」の推進について

(事務局・国保援護課)

- ・資料3に基づき、国保援護課事業（地域医療関係者との連携推進、保健指導実施体制の整備支援、新規事業のビッグデータ等の活用）について報告した。

<質疑・意見等>

(廣村会長) 糖尿病性腎臓病の対策についての話があったが、質問はいかがか。

(岡委員) 看護師が出来ることもあると思うが、どのようにお考えか。専門看護師等を育成しているので、協力できると思うが、どのように予定しているか。

(事務局) 研修は県内市町村の保険者の職員を対象に開催しているものである。御意見いただいたように人材・マンパワーが問題となっているので、専門看護師等と連携をとらせていただきながら、協力体制ができていけるとありがたい。課内で検討しながら、御相談させていただきたい。

(溜井委員) スキルアップ研修について、2日間で何時間くらいずつの研修か。

(事務局) 半日ずつの研修である。2例ほど事例検討を行う。最初の1時間半で1例目、後半の1時間半で2例目という流れになっている。1年目研修は座学が多いので3日間で、半日・1日・半日になっている。

(廣村会長) 実際の糖尿病性腎臓病の対策、受診勧奨と保健指導について、保健指導はコロナ禍で進めるのが大変だったと思うが、行政の関係者から各市の状況についてお話しただければと思う。

(前橋市(代理) 関様 音声の都合で聞けず)

(大塚委員) 富岡市では糖尿病性腎臓病重症化予防を平成30年度から実施している。特定健診を受けた対象の方(受診勧奨対象者と保健指導対象者)に通知を送らせていただいている。令和3年度の実績は、特定健診受診勧奨者77名、うち57件医療機関から連絡票をいただいた。そのうち17名に富岡市が保健指導を実施している。令和2年度からすべて個別指導で本人の体調や生活習慣に合わせた指導を行っている。コロナ禍になってから指導件数が減ったということはない。

(川島委員) コロナ禍で医師会と市町村の連携がなかなか動いていない。機会をみて連携を再設定して各地区の医師会の先生方にも協力いただけるよう、市町村から働きかけていただきたい。連絡のときに問題があるようであれば間に入るのも、是非よろしくお願ひしたい。

(廣村会長) 連携会議等を使いながら再始動をできればと思う。

(岡委員) 先生方とのつなぎで補佐役になるのは看護。佐賀県では、病院・クリニックのパイプ役をする看護師を育てている。今のお話を伺って、潜在的なニーズや問題があるかと思うので、是非協力させていただきたいと思っているので、どのようにしたら良いか一緒に相談させていただければと思う。

(関根委員) 糖尿病重症化リスク判定事業について、日立製作所の発症リスク度の算出について、普段から一般的に使われているものか、それとも日立製作所がもっていて今回の事業のために使わせてもらえるようなものか。

(事務局) 日立製作所がもともとは生命保険の関係で保険会社と協力して作成したものである。栃木県ですでにこの取組を導入していたので、そちらを活用させていただく。群馬県として新たなものを作成するのではなく、栃木県のものを使用し実験的に行う。

(関根委員) 臨床で使えるのであれば、患者さんにリスクをお話できるのでいいと思った。

(事務局) 医学的な部分でどうか疑問が残るところではあるので、現在その部分を含めて協議している。

(廣村会長) 先日の糖尿病対策推進協議会でも議題になったが、ある程度、医学的・研究的に行い、それを群馬県のデータとして発信できるといいと思う。良いシステムが作ればと思っている。

#### ④生活習慣病重症化予防事業の取組みについて

・資料4について、廣村会長より御説明いただく。

#### <質疑・意見等>

(溜井委員) 糖尿病性腎臓病、慢性腎臓病 (CKD) とともに受診率が高いのは素晴らしいと思った。このシステムにのって受診される方が、ここ一年増えているので、活用されていて実効性のあるものだと感じた。

(廣村会長) 関根委員、県内の腎移植の状況について、最近の動向を説明いただけるか。

(関根委員) コロナの影響で献腎移植の臓器提供が一時的に減ったので、全国的に献腎移植が減った。生体腎移植の件数も減っていたが、また少しずつ数が戻りつつある。臓器提供の数はコロナ前と比べてまだ少ない状況だが、生体腎移植はコロナ前と比較してもほぼ通常どおり行われるようになってきている。

## (2) 協議事項

### ①慢性腎臓病に関する「健康フェスタ」について

(事務局・健康長寿社会づくり推進課)

・資料5に基づき、今年度の健康フェスタの開催案について説明した。

#### <意見・質疑等>

(廣村会長) 健康フェスタについて、ブースを出展すること等、今年度どうするか。平日の開催、会場は1ヵ所になるので、たくさんのブースをだすことは難しい。ブースの出展等、密にならないような状況でできればと思う。

(荻原委員) 今までのブースは血圧測定や筋力測定等、来場者と近づいて、対応する内容だった。同じようにやると感染への不安がある。今よりも落ち着いていても心配。ブース出展するのであれば違う形でやることを考えなければと思う。

(天田委員) 令和2年度はお薬相談を常時5名で行った。盛況で反応が良かった。平日という話が出ているが、現場で働いているので平日出てこれるか。対応人数は2人程度か。会で相談させていただきたい。

(溜井委員) 社会的なコロナの状況によって、クラスターとかが出ては大変なので、そこが大丈夫であれば。来場者との話がメインになるので、動画の音声とダブると厳しい。やり方を考えなければと思う。

(清水委員) あまり大人数ではない形で、火曜か木曜であれば。会場が騒がしいので、来場者との会話方法等、やり方が難しいので考えなければならない。

(廣村会長) 各団体御検討いただき、何らかの形で御意向を伺えればと思う。

## ②研修会について

(事務局・健康長寿社会づくり推進課)

・資料5に基づき、今年度の研修会の開催計画について説明した。

<意見・質疑等>

(廣村会長) 例年どおり開催したいと思う。講師の人選については、県と私で相談したい。

## ③CKDシールの活用、世界腎臓デーに係る啓発について

(事務局・健康長寿社会づくり推進課)

・資料5のうち、CKDシールの活用状況及び世界腎臓デーの啓発、県民公開講座の開催案について説明した。

<意見・質疑等>

(廣村会長) CKDシール早めに取り組んだが、十分に普及していると言いがたい。

(天田委員) 現場として、年々お薬手帳に張ってあるのを見る機会は増えてきている。少しずつ効果があると言えると思う。

(溜井委員) 活用している。薬剤部と初診時にお薬手帳を見るので、G3b以上の方にはシール貼るようにしているが、コロナで薬剤部が薬を渡すときにお薬手帳を拝見するのが難しくなっている。薬を渡すときにデータをみて、薬局の方がシールを貼るのはなしか。

(廣村会長) 病気の診断にあたるので、医師が説明して貼るものとしている。

(廣村会長) 世界腎臓デーの県民公開講座については、平成24年から毎年開催していたものである。今年度は社会情勢をみて開催したい。

## (3) その他

特に意見なし

## 4. 閉会